

「京都文教大学海外出張助成金」交付による海外出張報告書

2010年7月30日提出

申請年度	2010年度（平成22年度）		
所属学科	臨床心理学科	報告者・職氏名	教授名取琢自
海外出張内容 (種別に)	目的 スイス・チューリヒユング研究所の夏期集中プログラムに参加し、セミナーにて発表する。 訪問国・地域 スイス・チューリヒ 助成額 260,000円		・学会 ・調査 ・会議 ・ <b>セミナー</b> ( <b>発表有</b> )
期間	2010年6月27日(日)～2010年7月11日(日)		14泊15日
上記出張期間の研究・調査等活動経過	6月27日・・・関空発・チューリヒ着 セミナー参加の打ち合わせ 6月28日・・・セミナー参加者顔合わせ おとぎ話と夢の東西比較(1)グリム 6月29日・・・おとぎ話と夢の東西比較(2)遠野物語 6月30日・・・おとぎ話と夢の東西比較(3)西洋人の夢、中国の夢 7月1日・・・おとぎ話と夢の東西比較(4)漱石「夢十夜」・第十夜 7月2日・・・セミナー参加 7月3日・・・ボーリンゲン、アインジーデルン訪問。Daimon 出版社訪問。 7月4日・・・資料整理 7月5日・・・セミナー参加 7月6日・・・セミナー参加 7月7日・・・コンフリクト・マネージメント研究所訪問。 7月8日・・・セミナー参加 7月9日・・・夏期プログラム最終日・懇親会参加 7月10日・・・チューリヒ発 7月11日・・・関空着		
研究・調査 発表等概要	<p>「夢とおとぎ話の東西比較 (Dream and Fairy Tales in East and West)」として、彼岸と此岸の境界の踏み越え方に焦点をあてて考察をすすめた。</p> <p>第一日は、グリム童話の「三枚の羽根 (Three Feathers) *」を題材として、三人の王子の行動特徴と成果について討論した。</p> <p>二日目は、遠野物語第63話「マヨヒガ」を取り上げ、嫁がマヨヒガから何も取らずに帰宅した後、宝物が家に流れつく結末について考察した。</p> <p>第三日は、西洋人の夢 (真夜中に祖父母の家に辿り着く場面*)、中国の奇談 (絵の中の女性と関係する青年*) から、東西の異界との遭遇のイメージについて検討した。</p> <p>四日目は、漱石の夢十夜・第十夜を詳細に検討し、夢見手、庄太郎、不思議な女性との関係をめぐって意見を交換した。</p> <p><small>*第一日、第三日の素材は、共同研究者の Ursula Weiss 氏が発表した。</small></p>		
研究・調査 発表等々の 成果の概要	<p>セミナーは、夏期集中プログラムの冒頭の四日間にわたって開催された。</p> <p>2つのセミナーが同時時間帯に並行して開催され、本セミナーには、プログラム参加者26名のうち15名が登録し、参加した。</p> <p>参加者の出身国は、日本、台湾、中国、ナイジェリア、ドイツ、カナダ、スイスと多様であった。</p> <p>最終日に行われた参加者のフィードバックおよび評価アンケートにおいて、高い評価を受けた。</p>		
研究・調査 等の成果 発表予定			